

平成二十六年 各委員会報告

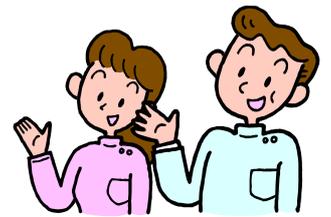
渡里すずらん苑では、ご利用者の皆様が、快適で生きがいのある苑生活が送れますよう、各種の委員会を設け、より良い施設運営に努めております。

事故防止委員会報告

平成二十六年年度事故防止委員会では、ご利用者の介護中に危険に感じたことや、起きてしまった事故などの事例を集計し、原因の究明と未然に防ぐための改善に取り組んできました。また、昨年度の事故で最も多かった転倒・転落・尻もちに着目し、事故を減少させるための意識づけとして、各ユニットで目標数値の設定



も行いました。対応策の一例としては、転倒・転落・尻もちを防止するうえで、転倒・尻もちの危れのあるご利用者には踏んだり、触ったりすると反応する「センサーマット」を使用して



います。体動が激しく、転落の危れのあるご利用者はクッション性がある「緩和マット」を使用し、万が一に備えています。このように事故を防止するため、ご利用者一人一人にあった防止策を考え、対応しています。今年度も、ご利用者の方一人一人にあった対応を実行していくこと、転倒、転落の件数を見直し、目標数値を定めることで職員一同協力しあいながらご利用者が安心して過ごせるように努めてまいります。

身体拘束・虐待防止委員会報告

身体拘束、虐待防止委員会では「身体拘束ゼロ」「虐待ゼロ」を目標に活動してきました。昨年度は身体拘束、虐待共にゼロ件でした。これからも職員一人一

人が知識、技術の向上に努め、その中でご利用者への心配りを忘れずに自分達の姿勢を見直しながら、ご利用者が気持ち良く生活していただけるよう努めてまいります。

業務改善・ユニット推進委員会

二十六年度も業務改善委員会とユニットケア推進委員会を実施し、より良いユニットケアを行っていただける様取り組んでまいりました。

業務改善委員会では、ご利用者の爪切りについて、各ユニットでチェック表を作成するなどして見直しをはかりました。又、ご利用者様の羞恥心へ配慮するためオムツ等を持ち運ぶ際エチケットバックなどを使用する等工夫を続けてまいりました。



ユニットケア推進委員会では、昨年度と同様、各ユニットで定めた目標の達成に努めてまいりました。これからもその効果を見ながらより良いケアに向け改善してまいります。

生活環境委員会報告

生活環境委員会では、日々の生活を快適に過ごしていただけるように生活環境全般の見直し、改善を行いました。

クリーンデイは、毎月二回行い、除草作業やエアコンのフィルターなど普段清掃できない場所を中心に行いました。

衛生チェックは、毎月一回行い、食中毒が多くなる時期の六月〜九月は月二回実施しました。チェック表を作成し、キッチン周りを中心に賞味期限切れなどをチェックし、できていない項目は次回までに改善できるように、衛生管理の徹底に努めました。

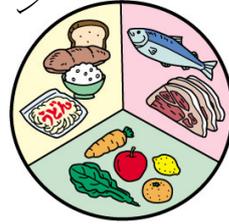


これからも、苑での毎日のご自宅での生活のように快適に過ごしていただけるよう取り組んでまいります。



食生活委員会報告

食生活委員会では、ご利用者の皆様に楽しく食事をしていただけのように誕生者メニューや各ユニットの希望を献立に反映し、メニュー内容の検討、工夫を行いました。



また、食事環境面では、おぼんでの配膳ではなく、ランチョンマットや個人の食器類を使用し、より家庭的な雰囲気を持たせるよう工夫しております。ランチョンマットは使用前にハセツプでの消毒、食器類も一日一回消毒しており、衛生管理をしっかり行っております。

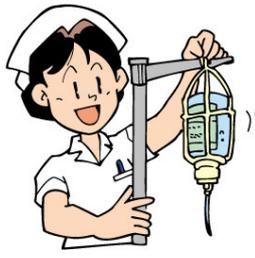
これからもご利用者一人一人に合わせた食事形態の検討や環境の見直しを行い、日々の食事を楽しく美味しく安全に食べていただけるよう努めてまいります。



経管栄養・喀痰吸引管理委員会

介護職員による四名の胃瘻による経管栄養は、大きなトラブルもなく現在も行われております。これからも委員会開催時に問題点や報告などについて協議し、事故防止や安全対策などに努力してまいります。

また痰絡みの時のケアや緊急時の吸引についても



職員の意識の向上があり、良くできていたと思います。今後もリスクの高い方が増えると予想できますので全職員で再認識し対応できるように定期的にチェックを行っていきたく思います。

感染症・褥瘡予防委員会報告

日頃より、感染予防に努めて

まいりましたが、全国的に一月中旬インフルエンザが流行した時期に、当施設でも利用者十一名職員十二名が罹患しました。しかし、感染対策をほどこし施

設全体に拡大することなく二週間で終息しました。

今後は、感染予防対策マニュアルの見直ししたり、SOSセットの実技研修の継続をして、より一層の感染予防対策に取り組みで行きたいと思えます。

褥瘡に関しては、発症したら、すぐに介護・看護職員による経過記録を作成し同時に写真撮影を行っております。原因や栄養状態のアセスメント

も行い短期間で治癒する様に努めていきます。



月一回委員会ではそれらの報告を行い予防対策や注意点の検討を行っております。昨年度は褥瘡が発症した利用者は数名でほとんどの方が初期で治癒しております。今後も褥瘡予防対策に全力で取り組んでまいります。

衛生委員会報告

平成二十六年度も年二回の健康診断を全職員対象に行いました。職員の健康管理意識を高め

る事が、ご利用者へのサービスの向上につながりますので今後も自己防衛と疾病の予防に努めてまいります。

防災委員会報告

防災委員会は、避難誘導訓練の実施(昼間二回・夜間想定一回)、セコム(株)による消防設備(消火器、スプリンクラー、自動火災報知設備、火災通報装置など)の機器定期点検(二回)および月一回の防災設備自主点検をしてまいりました。



二月には大地震を想定した「水戸市シェイクアウト訓練」(いっせいで防災訓練)をラジオ放送に合わせて行いました。それぞれ部署で地震発生時に身を守るための方法を考え訓練を実施しました。

これからも、ご利用者様に安心して生活していただけるよう、防災への意識付けを行ってまいります。